

ソーワテクニカ

2003876HF7403

農事用送風機 順送タイプ
取扱説明書（据付工事説明書付）

形名

KH-DCJ100ETFG 3相 200V 50/60Hz（前後ガード付）

この送風機は換気用途での使用はできません。

静圧OPa（フリーエアー状態）の場所に据付けてください。

■この送風機は3相製品です。

■この送風機の運転には、専用コントローラ（別売）が必要です。

お客様へ

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書（据付工事説明書付）」は大切に保存してください。
- 添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付しないでください（安全や機能の確保ができません）。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店・工事店様から説明を受けてください。

工事店様へ

- 据付工事を始める前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
- この取扱説明書に従って正しい使い方をお客様へご説明ください。

据付工事終了後は、必ずお客様にこの説明書をお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

警告	注意
誤った取りいをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。	本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	接触禁止	指示に従う
分解禁止	ねれ手禁止	アース確認
水ぬれ禁止	浴室取付禁止	

お客様へ

警告
送風機を水や消毒液につけたり、消毒液をかけたりしない ショート・感電・火災の原因
どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理工業者以外の人は行わない 火災・感電・けがの原因 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にて相談ください
どんな場合でもガードの中へ手や物などを絶対に入れない けがの原因 送風機が停止していても、電源が入った状態では送風機に近づかない 突然運転し始めてけがや感電の原因
ぬれた手で操作をしない 感電・けがの原因

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造物と金属ボディの部分が直接接触しないように据付ける 〔電気設備の技術基準 解説第167条3項〕 漏電したとき、火災の原因
お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切り、電源遮断後5分以上経過した後に行う 感電・けがの原因
振動が大きい、羽根が回らないなどの異常時には、使用を中止する 落下・焼損の原因
据付けは専門業者に依頼する 漏電・感電・落下的原因
シーズン前および自然災害発生後は異常がないか点検を行う 落下・焼損の原因
運転を開始する際は送風機周辺に人がいることを確認する けがの原因

工事店様へ

警告
爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない 爆発や火災の原因
定格電圧・定格周波数以外では使用しない 火災・感電の原因
送風用途以外には使用しない 火災・感電・けがの原因
インバータ電源では使用しない 火災・感電の原因
塩素消毒しているブル、酸・アルカリや腐食性ガスを含んだ湿気の多い場所に据付けない 腐食して落下しけがの原因
雨・水のあたる場所には据付けない ショート・感電の原因

漏電ブレーカーを確実に取付ける 漏電のときには感電の原因
送風機1台ごとにモータブレーカー1台を取付ける ショート・感電・火災の原因
保守点検の際は必ず分電盤を切り、電源遮断後5分以上経過した後に行う 感電・けがの原因
アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 故障や漏電のときには感電の原因

お客様へ

！ 注意

禁止	送風機に異常な振動が発生した場合は使用しない 送風機・部品の落下によりけがの原因
浴室取付禁止	1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない 部品の破損・落下によるけがの原因
衝撃を与えない	衝撃を与えない 感電や火災の原因
台風時・強風時	台風時・強風時には使用しない 落下・故障の原因
運転中は送風機を移動しない	運転中は送風機を移動しない けがの原因

工事店様へ

！ 注意

禁止	直接炎があたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因
浴室取付禁止	浴室など温氣の多い場所（相対湿度90%を超える場所）には据付けない 感電や火災の原因
運転中は送風機を移動しない	送風機の据付けは振動のない強固な場所に確實に行う 落下によりけがの原因
指示に従う	電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」ではない。電源電線の結線部分は安全上、JIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内にて行う。又、電源電線の結線部分には雨・水がかからないように電気工事を行う 接続不良や誤った電気工事は感電、火災の原因
アース確認	開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する 端面などでけがの原因
アース確認	部品の取付けは確実に行う 落下によるけがの原因
アース確認	積雪、落雪の可能性がある場所には据付けない 部品の破損・落下によるけがの原因

2. 据付け前のお願い

工事店様へ

■次のような場所には据付けしないでください（故障の原因になります）。

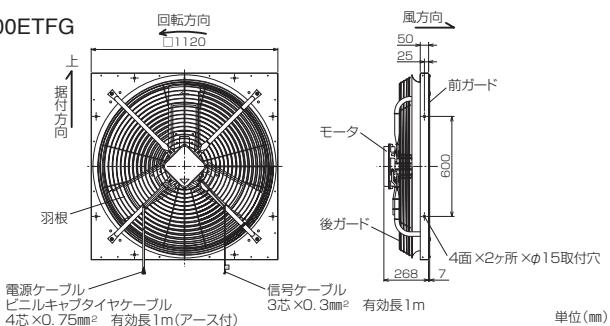
- 使用可能な温度範囲（-10°C～+40°C）を超える場所
- 常温で相対湿度90%を超える場所
- 氷結するおそれのある場所
- 雨または風にさらされる場所
- 塩害地域（塩害地域においては早期にさびが発生するため定期的に保守点検・清掃を行います）
- 海拔1000m以上の場所
- 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのある場所
- 酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
- 堆肥槽、ふん尿の上など腐食性ガス、水蒸気の発生、滞留する場所
- 厨房等で油煙・蒸気が直接製品にかかる場所
- 有機溶剤を使用している場所
- 吸込側、吐出側に遮へい物がある場所

- 低所で使用の場合、運転中は送風機に近づかないでください。
- ガードの中へ手や物などを絶対に入れないでください。とくに小さなお子様にはご注意ください。ガードは人体の腕、脛、頭部などの羽根への接触防止は可能ですが手先、指等をガードの隙間へ差し込んだ場合にはけがのおそれがあります。
- 使用する回転数によっては異常な振動、共振、騒音が発生することがありますのでその回転数付近では使用しないで十分注意してください。
- ダクトなどに接続しないでください。
- 据付けは製品荷重に十分耐える構造物に据付けてください。
- 据付け場所が弱いと共振を起こし、モータ破損及び羽根破損などが発生する危険があります。また、異常な騒音及び振動が発生するおそれがありますので、弱い場所は補強などをして確実に据付けてください。
- 静圧OPa（フリーエアー状態）の場所に据付けてください。
- 順送用途での設置（縦列配置）においては10m程度の間隔を空けて配置してください。間隔を空けないと製品が破損することがあります。
- 電源線から誘導雷サークルが侵入することにより製品が故障、誤作動することがあります。対策として避雷器の設置をおすすめします。

3. 各部のなまえと外形寸法図

工事店様へ

KH-DCJ100ETFG



4. 据付方法

工事店様へ

！ 警告

- 据付けは専門業者に依頼する
漏電・感電・落下的原因
- 雨・水のあたる場所には据付けない
ショート・感電の原因

！ 注意

- 開梱・据付けの際は手袋を着用する
端面などでけがの原因
- 安全のため据付けは2人以上で行う
落下によりけがの原因
- 送風機直下での作業はしない
落下によりけがの原因
- 送風機の据付けは振動のない強固な場所に確実に行う
落下によりけがの原因
- 据付けは振動、ゆるみなどが発生しないようにしっかりと据付けてください。
- 据付けが完了しましたらもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。
- 運搬時、据付時にはガードに力をかけないように注意してください。
- この送風機は換気用途では使用できません。静圧OPa（フリーエアー状態）の場所に据付けてください。

